

令和2年度 学校関係者会（学校評議員会）

○日 時 令和3年2月19日（金）9:00～10:20

○場 所 校長室

○出席者

- ・学校評議員 古屋 知子 様 猪股 秀男 様
- ・北中学校 岡林 健児 校長 中丸 徳仁 教頭

○内 容

- ・令和2年度学校評価について ・学校評議員の方からのご意見 ・情報交換
- ※ 学校長挨拶、教頭から学校評価の説明を行った後、評議員の方からご意見をいただいた。

◇学校の現状について（校長より）

- ・今年度は、感染症拡大予防措置のため、行事等変更・修正が多かったこと、学校生活を円滑に進めるための換気、消毒作業等環境整備にも多くの時間がとられた状況があった。
- ・学校行事では、感染症対策を徹底し、実施する方向で準備したこと、保護者の理解と協力が得られたことで、無事実施できた。
（北陽祭・合唱祭・授業参観・オーpensクール）
- ・各行事においては、各家庭の協力が得られたことがすべての行事の実施につながったことを実感し感謝している。
- ・来年度の新生は107名の予定。特別な支援を必要とする生徒も数名おり、指導体制、支援体制の確立に努めたい。また、ICTの環境整備が進み、来年度には一人一台端末を活用した授業作りに取り組んでいくことになるため、校内研究会での学習や、研修会への参加を通して、効果的な活用を模索していきたい。

◇学校評議員の方より

- ・登下校の様子を見ていると、マスクはしていても、いつも生徒たちは楽しそうにしている姿が印象的。いつもよく挨拶をしてくれる。
- ・生徒は、新しい生活用式をしっかりと受け入れ、学校や家庭での約束事もよく守っている。
- ・コロナ禍が一日も早く終息し、通常の学校生活に戻ってほしい。
- ・ビデオや映像を活用して授業が行われていて、生徒理解に役立っていること、生徒が一生懸命に取り組んでいることが素晴らしかった。
- ・新聞スクラップ、いじめ撲滅宣言、ボランティアボードなど各学年の活動が活発に行われていることがよくわかる。
- ・ネット社会で生活していく上で、ラインの使い方には多くの課題があると感じている。学校の指導も大変だとは思いますが、継続した指導をお願いしたい。

◇学校評価について

○生徒用⑤⑥ 「困ったことがあったときの相談・集団の中の人間関係」について

- ・⑤「相談している」は全体の18%がしていないと回答しているが、⑥「人間関係はできている」では、できていないと感じている生徒は全体の4%となっている。人間関係はある程度できているが、本心を相談できていない状況あるのではないか。日常生活の中で、今後とも生徒を見守り、心の支えとなってほしい。

○保護者用⑮ 「学校や学年便りをとおして、学校の様子がわかる」

- ・「NO!テレビ・ゲーム・スマホ DAY」「情報モラル教室」「職業講話」などの行事は、きっと未来につながる大切な時間となったと思う。コロナの影響で、実施できないもの多くあったと思うが、学校で様々なことを実施していく工夫がなされていると感じている。そのことが、便りを通して知ることができた。

◇コロナ対策について

- ・濃厚接触者を含め、出席停止期間が長い場合の学習支援はどのように行っているか。授業で活用したプリント、授業ノートを簡単にまとめ、登校後に学習相談を行っている。また、出席停止期間中に計画的に学習できるように各教科の課題を提示している。

◇不登校生徒への対応

- ・3年生は不登校生徒が減少しており、卒業後の進路に向き合っている。1・2年生の生徒は、学級担任により、家庭連絡や家庭訪問の実施を継続しており、家庭との連携に心がけている。また、スクールカウンセラーとの面談計画や時間差登校、放課後登校など、各学年で個別対応を実施している。